



小郡市立大原中学校だより

大為小積



令和3年 葉月6日

第10号

校長 矢野 晴一

学校教育目標:「自ら考え、自ら判断し、自ら行動しようとする子どもの育成」※「考動」

「熱き夏、子どもたちの奮闘！」

中体連筑後地区大会・福岡県大会



7月11日(日)から21日(水)にかけて、中体連の筑後地区大会が開催されました。結果は表の通りです。 【地区大会結果】

中止を余儀なくされた昨年度の夏から、練習の時間や内容が制限される中、決してうつむくことなく**仲間とともに汗を流した日々は、なにものにも代え難い大切な宝物**です。猛暑の中、全力を尽くす子どもたちの姿はみんなピカピカに輝いていました。

ソフトテニス 女子団体	第3位 県大会へ
ソフトボール	ベスト8
卓球 女子団体	惜敗
バスケットボール 男子	ベスト8
バスケットボール 女子	2回戦 惜敗
バレーボール 男子	惜敗

熱き夏 奮い立たせた 我が心
友の支えで のりこえた日々 晴一



また、夏休みに入って、7月27日(火)から29日(木)にかけて、福岡県大会が開催され、猛暑の中、ソフトテニス、陸上、水泳の各競技において、子どもたちは、勝利をめざし、自己ベストの記録をめざしてもてる力を精いっぱい発揮してくれました。

熱き夏、積み重ねてきた練習の成果を発揮し、奮闘した子どもたちに**大きな拍手を送りたい**と思います。

「熱き夏、子どもたちの奮闘！」 福岡吹奏楽コンクール

この夏、吹奏楽部も燃えました。7月28日(水)に行われた筑後地区吹奏楽コンクールで**銀賞**に輝いた吹奏楽部が、8月1日(日)、福岡サンパレスで開催された福岡吹奏楽コンクールに出場し、みごと**銀賞**を受賞することができました。

昨年度からほとんどのコンクールや演奏会が中止となる中で、また、校舎改修工事のため音楽室を十分に使うことができなかつた中で、日々の練習に「**一心不乱**」に打ち込んできた子どもたちの晴れ舞台でした。

万感の思いをこめた演奏は、**心に響き、心に染み、感動で胸がいっぱいになりました。**

熱き夏、練習の場所や内容等、さまざまな制限の中、発表の場を信じて練習を積み重ねてきた子どもたちに心から「**ありがとう**」と伝えたいと思います。



「できることを信じて・・・！」 ～ 「パラ炭」練習開始～



1学期の終盤、大原中学校では毎年体育館がにぎやかになります。昼休み、体育館から「パラパラ炭坑節」の音楽と大きなかけ声が聴こえてきます。体育大会において全校生徒が一体となって踊る「パラ炭」の振り付けを生徒会のリーダーたちが中心となって1年生に教えているのです。

子どもたちの中で、「体育大会でパラ炭を踊る」

ことは、本校の大切な文化として根づいているのです。どんなに制限されても、「できることを信じて」うつむくことなく前に進もうとしている子どもたちの姿を見ると、「どんなことがあっても歩みを止めない！」という強い決意が感じられます。

また、「大原中の文化を継承し発展させるのだ」「大原中の文化を伝えるのだ」という強い意志が伝わってきます。

「炎天下でのふんばり！」 駅伝チーム 始動

7月21日（月）、夏休みの駅伝の練習がはじまりました。じりじりと照りつける夏の日差しの中で、子どもたちは本当によく走っています。また、仲間どうしで声をかけ合いながら励まし合って走る姿に出会うことができます。

一人一人が自己の記録と向き合いながら歯を食いしばってがんばる姿（「積小為大」）や仲間と励まし合い支え合いながら走る姿（「つながり」）に大きな感動を覚えます。

私も、子どもたちといっしょに走っていますが、毎日ウォーミングアップの段階についていけずに音を上げています。

駅伝の練習が終わると、子どもたちは、それぞれの部活動に向かいます。夏休みも、汗びしょりの子どもたちに大きな拍手を送りたいと思います。



「できることを考えて！」 生徒集会にみた子どもたちの「考動」

7月20日（火）、終業式を行った後に生徒集会が行われました。

会は、感染予防対策のために放送で行われたのですが、そのプログラムの中になんと「校歌斉唱」があったのです。本年度は工事のために昨年度のようにベランダを用いて行うという方法はとれません。体育館にも集うことができない中、どうやるのだろうと思っていたら、リーダーたちがベランダへ向かい、教室・廊下を広く使う形に生徒が移動し、放送で伴奏を流してみごとに校歌を全校生徒で歌うことができました。

大人の私たちが、状況を見て判断したらカットするであろう「校歌斉唱」を子どもたちが「どうやったらできるか」を考えぬいて実際の行動に結びつけたのです。

これぞ学校教育目標に設定している「考動」の姿だと、いっしょに校歌を歌いながら大きな感動につつまれていました。



小さいけれど大きな感動 その10 「段取り力！ 次のために」

7月1日（木）から特別教室等の大規模改修工事がはじまっています。工事関係者の方も毎日猛暑の中でがんばっていただいています。毎日ずっとみていると学ぶべき点があることに気づきました。

それは、前日の仕事終わりに必ず次の日のスタートの準備を整えてから終了されていることです。

次の日の準備をされている様子を見ながら、「やっておいでよかった。やっておけばよかった。たった二文字の違いだけれどとても大きな違いがある。さて、あなたはどっち？」という言葉が思い浮かべました。

